

## W i n d o w s N T 4 . 0 について ( 2 )

( W i n 9 5 から N T 4 . 0 に移行すべきか )

利用環境が W i n 9 5 とほぼ同等となった N T 4 . 0 。 W i n 9 5 のアプリケーションの多くがそのまま N T でも利用できるようになってきています。システムの安定性の面で明らかに優れている N T 4 . 0 は、マルチメディア関連デバイスが未整備ですが、 W i n 9 5 から N T 4 . 0 に移行すべきかどうかはユーザにとって悩ましくなる一方となってきています。

N T 4 . 0 に移行すべき最大の理由は、動作の安定性やマルチタスク処理のスムーズさなど、 O S としての堅牢性があげられます。 N T の内部構造は初版の登場時から変わらず、ハードウェアを抽象化するために H A L を設け、異なるハードウェアとマルチプロセッサに対応できるようにきれいなモジュール構造となっています。それに対して W i n 9 5 は全体が一体となってアプリケーション実行環境を構成しているために、16ビット環境で起こった不都合が32ビット環境にも普及してしまいます。また、 W i n 9 5 の場合、 D L L などのシステムサービスがアプリケーションと同じメモリ空間で実行されるため、アプリケーションのバグによって簡単に書き換えられてしまいます。それに対して、 N T の場合メモリ空間が別れているためシステムサービスが破壊されることはありません。しかし、実行速度については W i n 9 5 の方が優れています。マルチタスクについてもそのドライバの作り方によって考慮されていないドライバを使っている W i n 9 5 に対して、 N T はドライバ自体がマルチタスクで動くように作られています。また、セキュリティについても、1台のマシンを複数のユーザが別々のものとして利用できる N T に対して、 W i n 9 5 は考慮されていないため、セキュリティを重視するのであれば、 F A T ではなく N T F S を使うべきです。

このようにいろいろな面で優れた N T 4 . 0 ですが、それでも N T 4 . 0 に移行できない理由は、必要なメモリ容量とハードディスク容量が確実に W i n 9 5 より大きくなることあげられます。メモリの必須条件は16MB以上ですが、実際には最低32MB、できれば64MB以上が必要となります。また、仮想記憶のスワップ領域は主記憶64MBで128MB以上となり、システムだけで300MB以上のディスク領域が必要となり、1GBのハードディスクではすぐに足りなくなってしまう。また、 P l u g & P l a y 機能もサポートしていないためインストールが面倒になります。加えて、サポートしていないデバイスが多いことも問題点としてあげられます。

このようにいろいろ優れた N T 4 . 0 ですが、簡単に W i n 9 5 から移行するにはもう少し時間が必要のようです。特に個人で利用するパソコンにはまだ W i n 9 5 が優れているようです。今後両 O S は性格をはっきり分けていくようですので、 L A N の端末として利用するなら N T 、家庭で使うなら W i n 9 5 ( 9 7 ? ) と使い分けていくようになるようです。

(情報誌トピックス)

○ 目録コンピュータ 1月20日号

特集 これが新システム体系だ

→新しい企業情報システムはインターネットのWWW技術を採用した3層アーキテクチャとなる。WWWブラウザを採用したクライアントとメインフレームやUNIXサーバの間に位置するネットワーク統合サーバが中核となり、これまでのC/SシステムとWWWサーバを統合したもので、書くシステムの利点をそれぞれ活用した上に過去のシステム資産を再利用することができる。

特集 WWWソフトをビジュアルに開発

→WWWに対応したシステムを構築できるビジュアル開発ソフトが大手ベンダーから発売

○ 目録エレクトロニクス 1月273日号

解説 Smart Batteryが浸透し始める

→IntelとDuraCellが定めた電池管理機能の標準仕様「Smart Battery」を採用するパソコンが増えてきている。二次電池を標準化することによってコスト削減やバッテリー監視のOS標準機能搭載が可能になる。

講座 1Gビット/秒のEthernetの全容

イントラネットなどで威力を発揮する

→GビットLANの現状と構築例(動画配信、イントラネットなど)について解説

○ 目録パソコン 1月27日号

特集 パソコンの新・常識

パソコンを買う時、使う時、判断に迷ったら読む特集

→パソコンの買い方から、周辺機器の選択方法まで

スペシャルレポート 5万円前後で選ぶ売れ筋スキャナ

→個人で買うことができるようになったスキャナのチェックポイントと主要7製品の特集

○ 目録バイブル 2月号

特集 限界迫るFATシステム

→プリインストール版のWindows 95の新版であるOSR2で新しい32ビットFAT(ファイルシステム)が採用になり、2Gバイトを超える領域をサポートできるようになったが、他のOSで読めないなどデメリットが大きく、現在のところ薦められない。また、これまでのWin95のFATであるVFATにもほころびが見えている

インサイド ゲーム機がパソコンの次世代DRAMを決めた

→EDO RAMの次としてNintendo 64が採用したRambus RAMをINTELが採用を推進すると表明した

- トレンド 基幹システムへの浸透をねらい信頼性向上を図るPCサーバ  
→基幹業務に採用できるよう二重化、サーバ監視ハードウェアなど三菱のFT8000などがサーバ専用機に力を入れている
- 解説 2001年のマイクロプロセッサ  
→2001年のマイクロプロセッサを技術動向などから予測。高速化に技術的障害はなく、64ビットCPUはRISCとの性能差がなくなる
- 解説 Win95からNT4.0に移行すべきか  
→魅力的なWinNT4.0はWin95と同様に使いやすくなったというが、移行はすべきかすべきでないか

○ASCII 2月号

- 特集 3Dカードでぼうけんにでる  
→3Dカードを使ったゲームの特集。ゲーム専用機と同等なパソコンゲーム
- 特集 10年に一度の大容量メディア選び  
→DVDが出てCD-Rが普及する。2月にはI/Oデータから120MBの大容量フロッピー（群電のドライブも使用）が発売
- 企画 こだわるヒトのパソコン用スピーカ選び'97  
→最新スピーカの傾向とチェックポイント

○SUPER ASCII 2月号

- 特集 Windows NT4.0徹底活用のノウハウ  
→注目のWinNT4.0の標準設定だけではわからない、誰もが抱く疑問、便利なTIPS、注意すべき落とし穴など、活用テクニック。
- レビュー Web巡回ツール8製品  
→Web巡回ソフトとは受け取ったHTMLを解析することによって、指定した範囲で関連ページデータなどをローカルディスクに格納していくソフトで、オフラインでも見ることができる

○DOS/V magazine 2月1日号

- 特集 高速3D時代のビデオカードを考える  
→ビデオカードの変遷から3Dテクノロジー、3Dカードの紹介まで
- 特集 ボトルネック解消講座  
→ハードウェアをグレードアップしても残るボトルネックについて、その現状と解消方法について